

# 加美よつば ～清流の里から～ 平成30年産JA加美よつば特別栽培米栽培ごよみ

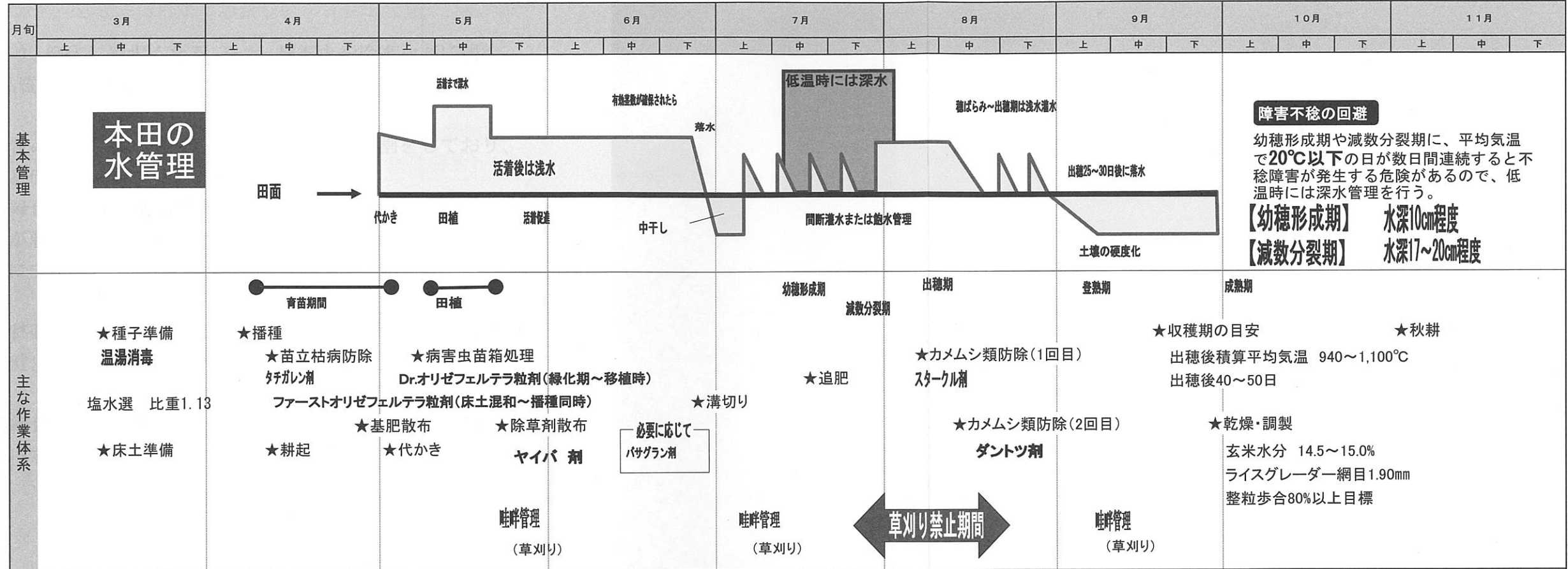


加美よつば農業協同組合

- 栽培基本事項**
- ①特別栽培米栽培基準・ガイドライン表示の遵守
  - ②農地の生産力を発揮させる土づくりの実践
  - ③種子更新100%
  - ④健苗の育成(薄まき・プール育苗)
  - ⑤耕深の確保(15cm)
  - ⑥作業時期の適正化(適正播種及び適期の田植)
  - ⑦栽培密度の点検(疎植による栽培環境改善)
  - ⑧異物混入の防止(幹線道路沿いの空き缶、空瓶の回収)
  - ⑨品質向上対策としての夜間灌漑(乳白米、腹白米の排除)
  - ⑩適期刈取の実施と全量1等米の調製
  - ⑪異品種混入防止(収穫・乾燥・調製機械の清掃徹底)

## 栽培基準

1. 良質堆肥施用による土づくりを基本とし、有機質肥料等の施用により化学肥料(窒素成分)施用量を慣行の1/2(3.5Kg)以内とする。
2. 健全な稲づくりにより、農薬成分回数を8成分以下で栽培する。



**収量構成要素の目安**

㎡当り穂数	480~500本
㎡当たり粒数	28~30千粒
登熟歩合	80~85%
玄米千粒重	23.0g
目標収量	530kg

**主な作業体系**

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
★種子準備 温湯消毒 塩水選 比重1.13 ★床土準備	★播種 ★苗立枯病防除 タチガレン剤 ファーストオリゼフェルテラ粒剤(床土混和~播種同時) ★耕起	★病害虫苗箱処理 Dr.オリゼフェルテラ粒剤(緑化期~移植時) ★基肥散布 ★代かき	★除草剤散布 ヤイバ 剤 必要に応じて パサグラン剤 畦畔管理 (草刈り)	★追肥 ★溝切り 畦畔管理 (草刈り)	★カメムシ類防除(1回目) スタークル剤 ★カメムシ類防除(2回目) ダントツ剤 畦畔管理 (草刈り)	★收穫期の目安 出穂後積算平均気温 940~1,100℃ 出穂後40~50日 ★乾燥・調製 玄米水分 14.5~15.0% ライスグレーダー網目1.90mm 整粒歩合80%以上目標	★秋耕	

- 土づくり**
1. 有機物の施用  
◎完熟堆肥を1トシ施用する。  
◎又はエコ堆くん500kg施用する。
  2. 土づくり肥料の施用  
「シリカリン40」 40kg/10a
  3. 幼穂形成期から減数分裂期の低温時深水管理のために畦畔づくり(高さ25cm目標)をする。
  4. 深耕  
深耕目標を15cmとする。
  5. 排水改良  
排水条件整備を徹底する。

**施肥基準 10a当り**

特別栽培米 施用例 (現物量)		化学窒素施用量
育苗	育苗専用肥料、人工培土等 例) ロング入り育苗専用肥料 60g×25箱/10a	0.20kg以内
基肥	粒状タイプ 有機エース 46kg以内	2.30kg以内
	側条ペーストタイプ (追肥なし) コーペースト222P 27.5kg以内	3.30kg以内
追肥	粒状タイプのみ 清流の里 10kg以内 又は NK化成C68号 6kg以内	1.00kg以内
化学肥料窒素施用量 合計		3.50kg以内

注1) 上記の施肥量を超えないように注意!

- 種子消毒**
1. 温湯消毒  
温湯60℃で10分間の温湯浸漬法によってばか苗病、苗立枯れ病、いもち病等を同時防除する方法です。  
種粗(種子更新100%)  
↓  
袋詰め  
↓  
乾燥もみを4kg程度に小分けする  
温湯消毒  
温湯は60℃に保つ  
1回の種粗消費量16kg(4kg小分け4袋)を正確に10分間浸漬する  
↓  
冷却 温湯消毒後速やかに冷水に付けて冷やす

- 育苗・田植え**
1. 育苗  
◎育苗期間の農薬使用回数は、タチガレン粉剤又は液剤のどちらか1回のみ使用。  
◎苗立枯病から苗を守る為、是非プール育苗を!  
◎健苗育成のため、薄まきにし、中・成苗を目指した大型苗をつくりましょう。
  2. 田植え時期  
平均気温が14℃を目安に行いましょう。  
5月5日~15日頃
  3. 不良天候時の田植えはやめましょう。
  4. 1株あたりの植付本数  
3~4本
  5. 栽培密度  
農薬を節減する栽培のため、疎植にし、環境を良くする。  
50~60株植(坪当り)

**病害虫防除・除草剤の使用基準**

対象	使用薬剤名	使用量 (10a当り)	成分数
種子消毒	温湯消毒・エコホープDJ	—	0
苗立枯病ムシ苗防止	タチガレン粉剤	箱当り6~8g	1
	タチガレン液剤	500~1000倍、箱当り500ml	
初期害虫・葉いもち病・イネアオムシ	ファーストオリゼフェルテラ粒剤 又は Dr.オリゼフェルテラ粒剤	箱当り50g ※使用形態で剤相違あり	2
	ヤイバ 豆つぶ250 ※1%粒剤・ジャンボ剤あります。	250グラム	
除草剤	パサグラン粒剤 ※必要に応じて	3~4kg	1
	スタークル粉剤DL	3kg	
カメムシ防除	スタークル液剤10	1000倍、120~150ℓ	1
	ダントツ粉剤DL	3~4kg	
	ダントツ水溶剤	4000倍、60~150ℓ	1
農薬成分使用回数 合計			8

**刈取り・乾燥・調製**

1. 刈取り  
刈り遅れのないよう、適期刈り取りに努める。  
●出穂後の積算気温から判断する場合  
・気温 940~1,100℃  
・日数 出穂後40~50日
2. 乾燥調製  
○乾燥  
毎時乾減率0.8%以下でゆっくり乾燥する。  
玄米水分14.5~15.0%に仕上げる。
- 調製  
ライスグレーダー網目1.90mmを使用し、整粒歩合80%以上の一等米をつくる。

「安全・安心」はあたりまえ、消費者ニーズに応える米の生産に努めましょう!